

令和 5 年 6 月 30 日

（名称）久山町地域公共交通活性化協議会

生活交通確保維持改善計画の名称
久山町地域生活交通確保維持改善計画
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
<p>久山町の公共交通は、路線バスにより町内外を連絡するとともに、地域内の移動手段として、町のコミュニティバス「エコバス」を運行している。</p> <p>本町では、福岡都市圏に位置することから人口が増加基調にあり、近年でも宅地開発により若年世代の移住・定住がみられ、通勤・通学者への移動手段の確保が重要となっている。その一方で、高齢化の進行もみられ、町内移動を中心とした買い物などの生活行動を支える移動手段の確保も必要となっている。</p> <p>そこで、平成28年度に「久山町地域公共交通網形成計画」（H29～R3）を策定し、町内外の幹線バス路線の確保と、町内を巡回するバス路線の充実を図ってきた。同計画の期間中平成30年度には、町内の主要なバス路線であった西鉄バスの町内区間の大部分が廃止され、その対応策としてエコバス幹線系統の運行や、西鉄バスとエコバスとの結節点となるトリアスでの乗り継ぎ拠点の整備など、町民の移動ニーズに応じた移動手段の確保を行ってきた。</p> <p>一方、町を取り巻く環境としては、将来推計を上回る人口増加（中でも、高齢者、高校生等の移動弱者の増加）等に加え、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）拡大の影響による地域公共交通の事業環境の悪化を受け、利便性と効率性が高い持続可能な公共交通体系を構築することが必要とされてきている。</p> <p>また、国においては令和2年11月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され、従来の「地域公共交通網形成計画」に代わり、まちづくりとの連動性の確保や輸送資源の総動員等の視点が重視・付加された「地域公共交通計画」の策定が努力義務化された。</p> <p>これらの状況を踏まえつつ、「久山町地域公共交通網形成計画」の検証を行った上で、令和4年度以降の公共交通の新たなマスタープランとなる「久山町地域公共交通計画（以下、「本計画」という。）」（R4～R8）を令和3年度に策定した。</p> <p>本計画では、人口構造の変化や公共交通の利用状況、町民・来訪者の移動ニーズ等の調査結果を分析することで得られた課題を整理し、今後の社会環境の変化を見据えながら、変化に柔軟に対応できる「持続可能な公共交通体系」を構築することを目的としている。</p> <p>この計画に基づき、町内公共交通ネットワークの充実と、町外路線との乗り継ぎを円滑に行う交通結節点での接続調整、基幹路線とフィーダーの相互乗り入れ等の連携を図るため、地域公共交通確保維持事業によるエコバスのフィーダー機能の維持・強化を図ることは、本町の公共交通の持続的な運行にあたって必要である。</p>
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
（1）事業の目標
<p>目標 1 乗降客数（町内巡回）</p> <p>【令和 6 年度】</p> <p>1 便あたりの平均利用者数 4.5 人以上</p> <p>{R4 年度の実績 4.5 人（うち、山田先行 4.1 人・久原先行 4.8 人）、R3 年度の実績 3.8 人（うち、山田先行 3.4 人・久原先行 4.1 人）、R2 年度の実績 3.6 人（うち、山田先行 3.1 人・久原先行 4.1 人）}</p> <p><目標値設定の考え方></p>

令和４年度の実績の利用者数の数値を維持していくという考え方に基づく。
令和７年度以降の目標設定についても、その数値目標を維持する値に設定した。

【令和７年度】

１便あたりの平均利用者数 ４.５人以上

【令和８年度】

１便あたりの平均利用者数 ４.５人以上

目標１ 乗降客数（猪野経由便）

【令和６年度】

１便あたりの平均利用者数 平日 ５.６人以上、土日祝 ５.８人以上

{R4年度の実績 平日 ５.４人、土日祝 ５.７人、R3年度の実績 平日 ４.６人、土日祝 ４.６人、R2年度の実績 平日 ３.８人、土日祝 ４.０人}

＜目標値設定の考え方＞

令和２年度から令和４年度にかけて利用者数が増えており、令和元年度（コロナ前）が平日 ５.９人、土日祝 ５.６人となっているため、増加のトレンドとコロナ前の利用者数の数値を令和８年度の目標値として平日・土日祝ともに ６.０人に設定した。

令和６・７年度の目標設定については、令和８年度の数値目標に向けて徐々に増加する数値として設定した。

【令和７年度】

１便あたりの平均利用者数 平日 ５.８人以上、土日祝 ５.９人以上

【令和８年度】

１便あたりの平均利用者数 平日 ６.０人以上、土日祝 ６.０人以上

目標２ 乗客の満足度（町内巡回）

【令和６年度】

①乗りたい時間に運行されている ②バスが時刻通りに来る ③時刻表（冊子）やバス停の掲示物は分かりやすいか ④行きたいところに行けるか ⑤自宅からバス停までの距離は適当である

アンケート調査により、以上の５つの項目の５段階評価で「満足」、「やや満足」と回答する人の割合が合計で 86.4%以上を目標値に設定する。

（久山町地域公共交通計画 P68 参照）

＜目標値設定の考え方＞

令和３年度に策定した「久山町地域公共交通計画」における計画目標(2)②のイコバス町内巡回の利用者満足度の数値に基づく。

令和７年度以降の目標設定についても、計画における数値目標を元に設定した。

【令和７年度】

①乗りたい時間に運行されている ②バスが時刻通りに来る ③時刻表（冊子）やバス停の掲示物は分かりやすいか ④行きたいところに行けるか ⑤自宅からバス停までの距離は適当である

アンケート調査により、以上の５つの項目の５段階評価で「満足」、「やや満足」と回答する人の割合が合計で 87.6%以上を目標値に設定する。

【令和８年度】

①乗りたい時間に運行されている ②バスが時刻通りに来る ③時刻表（冊子）や

バス停の掲示物は分かりやすいか ④行きたいところに行けるか ⑤自宅からバス
停までの距離は適当である

アンケート調査により、以上の5つの項目の5段階評価で「満足」、「やや満足」と回
答する人の割合が合計で88.8%以上を目標値に設定する。

目標2 乗客の満足度（幹線系統）

【令和6年度】

①乗りたい時間に運行されている ②バスが時刻通りに来る ③時刻表（冊子）や
バス停の掲示物は分かりやすいか ④行きたいところに行けるか ⑤自宅からバス
停までの距離は適当である

アンケート調査により、以上の5つの項目の5段階評価で「満足」、「やや満足」と
回答する人の割合が合計で80.0%以上を目標値に設定する。

（久山町地域公共交通計画 P67 参照）

＜目標値設定の考え方＞

令和3年度に策定した「久山町地域公共交通計画」における計画目標(1)②のイコ
バス幹線系統の利用者満足度の数値に基づく。

令和7年度以降の目標設定についても、計画における数値目標を元に設定した。

【令和7年度】

①乗りたい時間に運行されている ②バスが時刻通りに来る ③時刻表（冊子）や
バス停の掲示物は分かりやすいか ④行きたいところに行けるか ⑤自宅からバス
停までの距離は適当である

アンケート調査により、以上の5つの項目の5段階評価で「満足」、「やや満足」と回
答する人の割合が合計で80.0%以上を目標値に設定する。

【令和8年度】

①乗りたい時間に運行されている ②バスが時刻通りに来る ③時刻表（冊子）や
バス停の掲示物は分かりやすいか ④行きたいところに行けるか ⑤自宅からバス
停までの距離は適当である

アンケート調査により、以上の5つの項目の5段階評価で「満足」、「やや満足」と回
答する人の割合が合計で80.0%以上を目標値に設定する。

（2）事業の効果

	<p>事業効果 1 集落部の住民が日常生活における移動手段を確保できる。 地域公共交通確保維持事業による本町のフィーダー系統を維持することにより、町内の交通空白地が解消でき、高齢化が進む当該地域の生活維持が容易となる。</p> <p>事業効果 2 町外移動を担う基幹路線への乗り継ぎ転換・円滑化 フィーダー系統は町内主要拠点である猪野地区、山田地区、久原地区のバス停で基幹路線への乗り継ぎが可能であるため、基幹路線の利用者数増加、持続的運行が見込める。</p> <p>事業効果 3 マイバス意識の醸成と公共交通を活用したまちづくりへの転換 マイカー移動が主流である当該地域において、フィーダー系統にイコバスの車両を導入しており、より利用しやすく、親しみやすい公共交通施策を合わせて推進していく。その中で町内医療、商業系事業者との連携、基幹路線運行事業者との役割分担を本事業においてより積極的に推進し、住民の外出機会の増加による公共交通利用者数の増加を図る。</p>
3.	2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
	<ul style="list-style-type: none"> ・イコバス町内巡回の再編（久山町、交通事業者） ・買い物に対応した運行ルート・ダイヤの設定（久山町、交通事業者） ・分かりやすい総合時刻表の作成・配布（久山町） ・交通事業者・商業施設と連携した利用促進（久山町、交通事業者、商業施設） ・観光施策・福祉施策・教育施策と連携した利用促進（久山町） <p>（久山町地域公共交通計画 P60～61 参照）</p>
4.	地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
	<p>地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 1」を添付</p> <p>① 予定している時刻 午前 5 時 20 分～午後 10 時 25 分</p> <p>② 新宮タクシー株式会社</p> <p>③ 地域内フィーダー系統の補足：久山バス停及び山の神バス停において地域間幹線系統である JR 九州バスの「福岡直方線」と接続している。</p>
5.	地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者
	<p>久山町から運行事業者への補助金額については、運行収入を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。</p>
6.	補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
	<p>新宮タクシー株式会社</p>
7.	<p>補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法</p> <p><u>【活性化法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】</u></p>

※該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準ニただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 別表 1 の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】
※該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 5」を添付。
13. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の負担者 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
（１）事業の目標
※該当なし
（２）事業の効果
※該当なし
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし

20. 協議会の開催状況と主な議論

- ・平成 23 年 5 月 25 日（H23 年第 1 回）協議会開催、今年度事業内容について協議
- ・平成 23 年 6 月 21 日～24 日 持ち回り協議にて、全ての構成員から合意を得られた。
- ・平成 23 年 10 月 3 日（〃第 2 回）協議会開催、運行ルートの変更について協議、承認
- ・平成 24 年 5 月 11 日（H24 年第 1 回）協議会開催、今年度事業内容について協議
- ・平成 24 年 8 月 21 日（〃第 2 回）協議会開催、運行ルートの変更について協議、承認
- ・平成 25 年 1 月 29 日（〃第 3 回）協議会開催、西鉄ダイヤ改正について協議
- ・平成 25 年 6 月 24 日～27 日 持ち回り協議にて、全ての構成員から合意を得られた。
- ・平成 25 年 9 月 13 日（H25 年第 1 回）協議会開催、今年度事業内容について協議
- ・平成 25 年 12 月 18 日（〃第 2 回）協議会開催、今年度調査結果について協議
- ・平成 26 年 2 月 21 日（〃第 3 回）協議会開催、西鉄・イコバス変更について協議
第 2 次連携計画について協議
- ・平成 26 年 3 月 24 日（〃第 4 回）協議会開催、第 2 次連携計画について合意
- ・平成 26 年 10 月 3 日（H26 年第 1 回）協議会開催、今年度事業内容について協議
- ・平成 27 年 6 月 24 日（H27 年第 1 回）平成 28 年度生活交通確保維持改善計画申請について協議・承認。
- ・平成 28 年 6 月 21 日（H28 年第 1 回）今年度の協議会の事業計画について協議
平成 29 年度生活交通確保維持改善計画申請について協議・承認
- ・平成 28 年 10 月 4 日（H28 年第 2 回）各種調査結果における検証結果の報告、協議
- ・平成 28 年 12 月 10 日（〃第 3 回）久山町地域公共交通網形成計画素案の作成について協議
今後の基本方針及び方向性について協議。
- ・平成 29 年 2 月 20 日（〃第 4 回）久山町地域公共交通網形成計画（素案）について協議
コミュニティバス運行事業者変更について報告し、承認
- ・平成 29 年 6 月 22 日 平成 29 年度地域公共交通調査事業（計画推進事業）について協議し承認
- ・平成 29 年 7 月 26 日（H29 年第 3 回）平成 30 年度生活交通確保維持改善計画認定申請について協議し承認
- ・平成 30 年 5 月 18 日 平成 30 年度地域公共交通調査事業（計画推進事業）について協議し承認
- ・平成 30 年 6 月 25 日（H30 年第 2 回）平成 31 年度生活交通確保維持改善計画認定申請について協議し承認
- ・平成 30 年 8 月 29 日 イコバス（町内循環線）の一部ルート変更他について協議し承認
- ・令和元年 5 月 29 日（R01 年第 1 回）令和 2 年度生活交通確保維持改善計画認定申請について協議し承認
- ・令和 2 年 2 月 12 日 イコバス（猪野経由便）のダイヤ変更他について協議し承認
- ・令和 2 年 7 月 22 日（R02 年第 1 回）令和 3 年度生活交通確保維持改善計画認定申請について書面協議し承認
- ・令和 2 年 10 月 23 日 イコバス（町内循環線）の一部ルート変更他について書面協議し承認
- ・令和 3 年 1 月 28 日 イコバス（猪野経由便）のダイヤ変更他について書面協議し承認
- ・令和 3 年 5 月 25 日 令和 4 年度生活交通確保維持改善計画認定申請について書面協議し承認
- ・令和 3 年 11 月 15 日 久山町地域公共交通計画（素案）について協議
- ・令和 4 年 1 月 21 日 久山町地域公共交通計画（案）他について協議し承認
- ・令和 4 年 5 月 16 日 令和 5 年度生活交通確保維持改善計画認定申請について書面協議し承認
- ・令和 4 年 7 月 12 日 利用状況を踏まえたイコバス改善の方向性について協議し承認
- ・令和 4 年 9 月 29 日 イコバスの具体的な再編内容について協議し承認
- ・令和 4 年 11 月 15 日 イコバスの運行内容について協議し承認
- ・令和 5 年 1 月 24 日 令和 5 年度生活交通確保維持改善計画変更申請について協議し承認
- ・令和 5 年 5 月 22 日 令和 6 年度生活交通確保維持改善計画認定申請について協議し承認（予定）

21. 利用者等の意見の反映状況

毎年度、イコバス利用者に対して乗り込み調査を実施。

22. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	福岡県交通政策課
関係市区町村	篠栗町まちづくり課 新宮町産業振興課
交通事業者・交通施設管理者等	西日本鉄道(株)、ＪＲ九州バス(株)、篠栗交通(株)、新宮タクシー(株)、福岡県福岡県土整備事務所管理課、久山町都市整備課、粕屋警察署
地方運輸局	福岡運輸支局
その他協議会が必要と認める者	井上信昭氏（元福岡大学教授）、久山町商工会、久山町社会福祉協議会、トリアスプロパティマネジメントオフィス、久山町議会産業建設常任委員会委員長、久山町区長会代表（猪野区長、上久原区長）

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）福岡県糟屋郡久山町大字久原 3632

（所 属）久山町 経営デザイン課

（氏 名）亀井 隆行

（電 話）092-976-1111

（e-mail）k-design@town.hisayama.fukuoka.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらずとも差し支えありません。

また、既存計画部分で生活交通確保維持改善計画の記載項目に合致する部分は、そこからの転記や、該当部分を明確にした上での添付などにより活用いただいて差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記２．３．については、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、生活交通確保維持改善計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

外客来訪促進計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

JR 九州バス「久山」バス停とイコバス「レスポアール久山」バス停とバス停が近接しており、接続が確保されていることを示す図面

